

授業科目名・形態	介護総合演習Ⅰ	演習	必修・選択の別	選択
担当者氏名	工藤久・柴田博・関口麗子・石岡和志	開講期	2年前期	単位数 1

### 【授業の主題】

実習の教育効果を上げるため、介護実習前の介護技術の確認や施設等のオリエンテーション、実習後の事例報告会または実習期間中に学生が養成施設等において学習する日を計画的に設けるなど、実習に必要な知識や技術、介護過程の展開の能力等について、個別の学習到達状況に応じた総合的な学習とする。介護総合演習については、実習と組み合わせての学習とする。実習の意義や目的などを踏まえて、実習の心得、実習記録の書き方など実習に向けた基本的な準備を行う。介護実習Ⅰに出る前の演習であり、訪問介護やデイサービス、小規模多機能型居宅介護等サービスなど、居宅型サービスについて学習する。また、介護の専門性の考察、介護支援技術の確認なども行う。

### 【到達目標】

- 1) 「介護実習」への動機付けを促進させる。
- 2) 学生が介護に興味や関心を持ち、実践したいという気持ちになること。
- 3) 実習記録の書き方を習得する。

### 【授業計画・内容】

- 第1回 介護実習の意義と目的（工藤）
- 第2回 介護実習と専門科目との関連（柴田）
- 第3回 実習施設についての理解（障害者支援施設）（柴田）
- 第4回 実習施設についての理解（重症心身障害児施設・救護施設）（関口）
- 第5回 老人居宅生活支援事業・老人デイサービスについての理解（石岡）
- 第6回 実習の心得（石岡）
- 第7回 介護実習前の介護技術の確認（関口）
- 第8回 専門職に求められる福祉の理念、職業倫理について（工藤）
- 第9回 実習記録の書き方（本学様式）①（柴田）
- 第10回 実習記録の書き方（本学様式）②（石岡）
- 第11回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第12回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第13回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第14回 各実習施設担当教員による事前指導（実習計画等）（担当教員全員）
- 第15回 介護実習Ⅰに関する諸注意事項の確認と実習最終準備作業（担当教員全員）

### 【授業実施方法】

演習形式で行う。

### 【授業準備】

特に認知症のグループホームやデイサービスなど通所介護については事前学習しておくこと。

【主な関連する科目】 介護過程、介護の基本、高齢者福祉論、障害者福祉論、認知症ケア論

### 【教科書等】

介護福祉士養成講座編集委員会編『第10巻 介護総合演習・介護実習』（第3版） 中央法規出版

### 【参考文献】

必要時に資料を配付する。

### 【成績評価方法】

レポート等の提出物 50%、授業内での発表 40%、平常点 10%の総合判定とする。

### 【学生へのメッセージ】

実習施設の概要などを主体的に調べ、介護実習が実りあるものとなるよう積極的な授業参加を期待する。